



中央区 在宅療養を支える皆さまのための
令和3年度在宅療養支援研修
(従事者向け)

専門職による講義、グループワークを実施します。

令和3年
8月31日(火)
午後6時～7時30分

平穏な看取りを 支援するためには

グループワークテーマ

～その方らしく生きるために、

また、その方らしく最期を迎えるためにできる支援とは～



講師

マイホーム新川

生活部長 岩野たみ子 氏

医療機関及び介護保険サービス事業者における在宅療養に必要な知識、技術の向上及び多職種連携強化を図ることを目的としています。

★ 会場

中央区役所8階大会議室(中央区築地1-1-1)

★ 対象者

医師、歯科医師、看護師、介護サービス事業所職員
(ケアマネジャー、ヘルパー、理学療法士、作業療法士、
言語聴覚士)等の在宅療養を支える皆さま

★ 定員・申込

30名

※申込みは7月1日(木)から8月16日(月)まで(先着順)
各事業所1名の参加に限らせていただきます。

★ 内容

講義、グループワーク、質疑・応答

※当日は事前体温測定、マスク着用、体調不良時は欠席にご協力ください。

【問合せ先】中央区福祉保健部 介護保険課 地域支援係 電話03(3546)5379

令和3年度 在宅療養支援研修（従事者向け）

平穏な看取りを支援するためには

グループワークテーマ

～その方らしく生きるために、
また、その方らしく最期を迎えるためにできる支援とは～

令和3年8月31日（火）
午後6時～7時30分

研修の目的・テーマが多職種連携のため、区内の医師会、
歯科医師会、薬剤師会の会員の方々へご案内させてい
ただいております。

会場：中央区役所 8階大会議室
(中央区築地1-1-1)



申込期限：令和3年8月16日（月）必着

申込方法：郵送またはFAX

定 員：30名

※申し込みは7月1日（木）から先着順です。
各事業所1名の参加に限らせていただきます。

※FAXでお申し込みの方は下記フォームに記入の上、送信してください※

所属機関	申込担当者名	
所在地 〒	電話番号	
★研修当日、配布名簿に参加者の事業所名と 名前を掲載してよろしいですか？		はい ・ いいえ
所属部署	職種	名前（ふりがな）

※当日は事前体温測定、マスク着用、体調不良時は欠席にご協力ください。

FAX

FAX送信先：03-3543-0236

(あて先) 〒104-8404 中央区築地1-1-1
中央区福祉保健部 介護保険課 地域支援係 行



令和3年度 在宅療養支援研修(従事者向け)アンケート結果

令和3年8月30日実施

参加者 23名: 事前申込28名 (当日キャンセル5名)

	事前申込	参加者
医師	3	2
歯科医師	0	1
薬剤師	2	1
看護師	6	4
保健師	0	0
主任介護支援専門員	2	2
介護支援専門員	9	8
理学療法士	1	1
作業療法士	0	0
言語聴覚士	0	0
社会福祉士	2	2
その他	3	2
合計	28	23

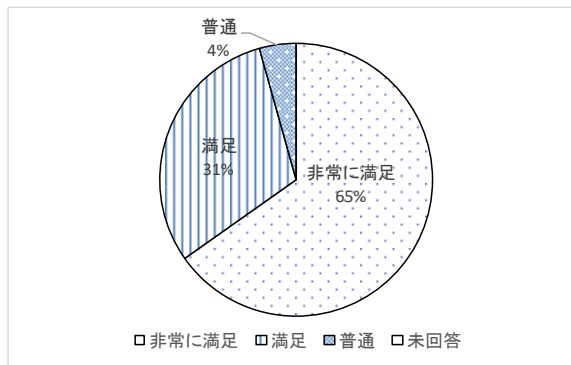
アンケート回答者数 23名(回収率100%)

問1 回答者職種

	回答者
医師	2
歯科医師	1
薬剤師	1
看護師	4
介護支援専門員	10
理学療法士	1
訪問介護員	1
社会福祉士	2
無回答	1
合計	23

問2 本日の研修の参加満足度について、該当するものを教えてください。

	非常に満足	満足	普通	不満足	非常に不満足	未回答
医師	2					
歯科医師			1			
薬剤師	1					
看護師	4					
介護支援専門員	4	6				
理学療法士		1				
訪問介護員	1					
社会福祉士	2					
未回答	1					
合計	15	7	1	0	0	0



	回答者数
非常に満足	15
満足	7
普通	1
不満足	0
非常に不満足	0
未回答	0
合計	23

1. 「非常に満足」の理由

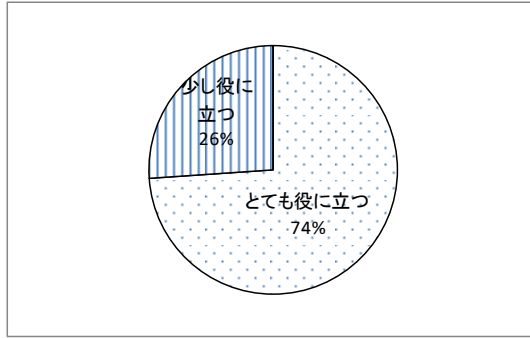
職種	理由
医師	<ul style="list-style-type: none"> 現在のケア体制の紹介や、大切なケースの話を聞くことができた。 グループワークの時間を比較的長くっていただいたのでそれぞれの考えをたくさん話し合えた。
薬剤師	<ul style="list-style-type: none"> いろいろな職種の方々の体験やお話が聞けて良かった。
看護師	<ul style="list-style-type: none"> 施設での看取りの仕組みや、実際について大変わかりやすい説明であった。 現在、看取りの利用者と接しており、悩んでいたため参考になった。 看取りの明るいイメージが持てた。 具体例が多く、わかりやすかった。 講義がとても興味深かった。
介護支援専門員	<ul style="list-style-type: none"> 実際行われている施設の対応を知れる機会は貴重だった。 マイホーム新川での看取りや仕組みが理解できた。参考になった。 多職種でいろいろな話を聞け、大変勉強になった。
理学療法士	<ul style="list-style-type: none"> 施設での看取りが学べた。
訪問介護員	<ul style="list-style-type: none"> 介護職員としての考え方が持つことができていなかったが、ケアマネジャーの考えや要望することを知る機会となった。
社会福祉士	<ul style="list-style-type: none"> とても良い話が聞けた。 講師の話、いろいろな方のチームの話が聞けて勉強になった。
無回答	<ul style="list-style-type: none"> 人としての尊厳を守り、気持ちを大切に思い、支援をしたいと思った。

2. 「満足」の理由

職種	理由
介護支援専門員	<ul style="list-style-type: none"> とてもわかりやすい話だった。 マイホーム新川の対応が良くわかった。大変参考になった。 これからの看取りの臨んでいく参考になった。 施設内のことが資料スライドに足されていて、理解しやすかった。 多職種でいろいろな話が聞け、大変勉強になった。
理学療法士	<ul style="list-style-type: none"> 施設での看取りが学べた。

問3 研修の内容はお役にたちますか？

	とても役立つ	少し役立つ	どちらともいえない	あまり役立たない
医師	2			
歯科医師		1		
薬剤師	1			
看護師	4			
介護支援専門員	7	3		
理学療法士		1		
訪問介護員		1		
社会福祉士	2			
無回答	1			
合計	17	6	0	0



	回答者数
とても役に立つ	17
少し役に立つ	6
どちらともいえない	0
あまり役立たない	0
未回答	0
合計	23

1. 「とても役立つ」の理由

職種	理由
医師	<ul style="list-style-type: none"> ・日常の仕事、役割をよりよくできる。 ・チャレンジができるようになって、とてもありがたいと思った。
看護師	<ul style="list-style-type: none"> ・その人を知り、望んでいる最期に近い環境を作っていく。 ・支援のときから、利用者の終末期と一緒に考えたいと感じた。 ・施設での看取りがどのように行われているか具体的に知ることができ、利用者や家族に説明しやすくなった。 ・おとセンやケアマネジャーなど多職種の話が聞け、参考になった。
介護支援専門員	<ul style="list-style-type: none"> ・生と死は隣り合わせであるから。 ・テーマに関して様々な職の方から予想できなかった課題を聞いて良かった。 ・ACPが課題となっているが、今回の研修の内容を役立てたいと思う。 ・ショートステイでの看取りをもっと増やしてほしい。 ・在宅でも施設でも共通していることだと思う。
社会福祉士	<ul style="list-style-type: none"> ・今後看取りになりそうな方に介入する際に役立つと思う。
無回答	<ul style="list-style-type: none"> ・各関係部署と一人の人の思いやる気持ちを持って明日から仕事に取り組みたい。

2. 「少し役立つ」の理由

職種	理由
歯科医師	<ul style="list-style-type: none"> ・歯科としては何かしらの結果(入れ歯の修理・歯の抜去)により、次の段階に進むので認知症などにより困難化していくため。
介護支援専門員	<ul style="list-style-type: none"> ・看取りについて改めて考える機会となった。今日感じた思いを忘れず、仕事に役立てたい。 ・特養の現在の状況がわかったので、利用者、家族からお話があれば、相談していきことができると思う。
理学療法士	<ul style="list-style-type: none"> ・実施している内容を日頃の業務や考えに取り入れられる部分があった。
訪問介護員	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃からの心の持ち方を変えることができそうである。

問4 本日の研修でお気づきになったこと、ご意見等があればご記入ください。

職種	理由
医師	<ul style="list-style-type: none"> ・中央区では看護師と医師連携で自宅で最期を迎えやすい。 ・地域に根付いて重要な役割を担われている施設では、いろいろな取組みがなされていることをあらためて気づかされた。
薬剤師	<ul style="list-style-type: none"> ・マイホーム新川で使われている急変時・看取り介護・永眠時のパンフレットが見たい。 ・施設では薬局が決まっていたりで、なかなか看取りまで行かないことが多い。一緒に参加できるような仕組みづくりや別の薬局に引き継げるような仕組みがあればいいと思う。
看護師	<ul style="list-style-type: none"> ・他職種、他施設の人たちと情報交換でき、有意義であった。 ・利用者や職員の心の準備等よく理解できた。 ・トラブルになった事例等を聞けるともっと良かったと思う。
介護支援専門員	<ul style="list-style-type: none"> ・選択の連続の中で関わり方でいかに前向きに自分らしい選択ができるか。 ・看取りは誰にでもおとずれてくるので、自分の思いが言える時にどうしたいか聞いておくことが大切だと思った。 ・多職種みんなで支えていきたい。 ・看取りとターミナルケアの違いについて初めて知った。今後の支援に役立てたい。 ・日頃の関りの中で常にその人らしさを探る視点が必要と思った。 ・ご本人の看取りについての説明について
訪問介護員	<ul style="list-style-type: none"> ・よい刺激となった。
無回答	<ul style="list-style-type: none"> ・状況によっては、もう背景がわからず、「その人らしさ」というのは難しいと思ったが、最期はご本人と家族に喜ばれる存在でありたい。

問5 今後、実施して欲しい研修テーマや内容があればご記入ください。

職種	理由
医師	<ul style="list-style-type: none"> ・ACP
介護支援専門員	<ul style="list-style-type: none"> ・医療と介護のICT
理学療法士	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ関連